



登米地域の稲作通信 第8号

令和4年9月14日発行
宮城県米づくり推進登米地方本部
宮城県登米農業改良普及センター
Tel: 0220-22-6127

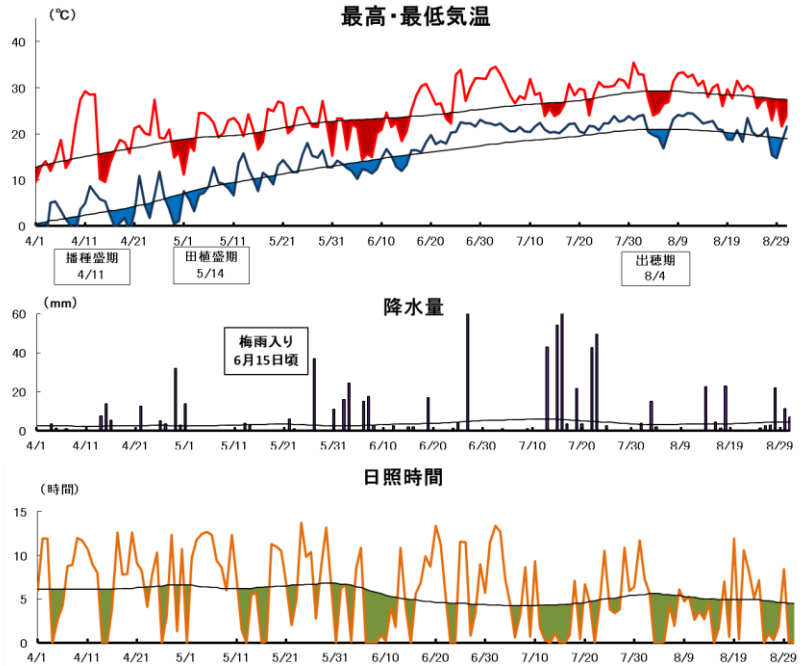


<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>

1 気象経過

8月の気温は、上中旬は平年より高く、下旬は平年よりやや低く推移しました。14日から18日、25日から28日にかけて断続的な降雨があり、降水量は平年の104%となりました。日照時間は平年の72%でした。

観測地点：米山アメダス



2 生育状況

【水稻生育調査結果(移植)】

No.	品 種	栽培タイプ	調査地点	田植月日 (平年差)	栽植密度 (株/m ²)	出穂期 (月日)	穂揃期	出穂後25日調査結果						刈取適期 予測
								葉色 (GM)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	葉色 (GM)	1穂粒数 (粒)	
1	ひとめぼれ	Cタイプ	南方町	5月18日 (+3日)	15.0	8月12日	33	93.8	19.4	411	33.1	80.6	33.1	9月28日
							前年比・差 +11 平年比・差 +9	-2.4 0.9	114% 114%	99% 104%	106% 101%	-0.3 1.5	100% 113%	106% 114%
2	ひとめぼれ	Cタイプ	中田町	5月14日 (-4日)	15.9	8月12日	32.7	91.3	19.3	421	30.2	74.1	31.2	9月28日
							前年比・差 +9 平年比・差 +5	0.8 1.6	111% 110%	103% 106%	95% 97%	0.0 1.1	122% 121%	116% 119%
3	ひとめぼれ	Cタイプ	登米町	5月21日 (+3日)	16.3	8月14日	34.9	102.0	19.3	484	35.0	87.5	42.4	9月30日
							前年比・差 +13 平年比・差 +7	2.6 3.8	129% 120%	105% 105%	126% 113%	6.1 5.5	129% 128%	162% 144%
4	ササニシキ	Cタイプ (復活サシ)	豊里町	5月12日 (+1日)	16.0	8月7日	32.5	88.2	19.1	320	28.5	92.6	29.6	9月20日
							前年比・差 +9 平年比・差 +5	-0.6 0.5	112% 112%	102% 109%	78% 71%	-2.6 -1.0	117% 122%	92% 87%
5	だて正夢	—	迫町	5月17日 (+4日)	21.5	8月10日	34.8	98.2	19.8	368	34.4	94.3	34.7	9月27日
							前年比・差 +8 平年比・差 +5	-3.3 -3.7	112% 106%	98% 101%	88% 87%	-4.7 -3.3	109% 103%	96% 90%
6	金のいぶき	—	登米町	5月15日	16.2	8月11日	31.8	96.5	19.2	496	32.0	88.5	43.9	10月2日
							前年比・差 +7	-2.5	109%	99%	95%	-1.1	115%	110%

※栽培タイプ Cタイプ：農薬・化学肥料節減栽培（慣行栽培の5割減；農薬8成分，化学窒素成分3.5kg以下）

※平年値は、過去5か年（平成29年～令和3年）の平均値。

※気温の積算値は9月11日までは実測値。9月12日以降はアメダス（米山）の平年値を用いた。

※適期刈取予測は、出穂後積算平均気温でひとめぼれ・ササニシキ1,000℃，だて正夢1,040℃，金のいぶき1,100℃に達した日とした。

ひとめぼれの稈長，穂長は平年より長く，m²当たり穂数は平年並から多くなりました。1穂粒数，m²当たり粒数は平年より多くなりました。だて正夢の1穂粒数は平年並でしたが，m²当たり穂数が平年より少なくなったため，m²当たり粒数は少なくなりました。

【管内の出穂状況】

地帯区分	出穂始期		出穂期		穂揃期	
	令和4年	平年	令和4年	平年	令和4年	平年
北部平坦	7月30日 (+1)	7月29日	8月4日 (+3)	8月1日	8月13日 (+6)	8月6日
三陸沿岸	8月2日 (+2)	7月31日	8月7日 (+4)	8月3日	8月14日 (±0)	8月14日
管内合計	7月30日 (+1)	7月29日	8月4日 (+3)	8月1日	8月13日 (+6)	8月6日

※出穂始期・出穂期・穂揃期は、それぞれほ場の50%以上出穂した面積が5%、50%、95%に達した日

※平年値は、過去5か年(平成29年～令和3年)の平均値。

管内の出穂期は平年より3日遅い8月4日頃でした。

3 今後の管理

(1) 適期刈取

1) 出穂後の積算平均気温による刈取時期の判定

品種別出穂後積算平均気温による刈取適期の目安

品種	出穂後積算平均気温	出穂後日数	品種	出穂後積算平均気温	出穂後日数
ひとめぼれ	940～1,100℃	40～45日	だて正夢	1,020～1,060℃	50日前後
まなむすめ	960～1,050℃		金のいぶき	1,050～1,150℃	50～55日
ササニシキ	930～1,170℃	45～50日	つや姫	1,000～1,200℃	48～60日
みやこがねもち	950～1,150℃		つきあかり	1,000～1,200℃	38～43日

刈取時期が遅くなるほど整粒歩合は低下し、その他未熟粒、基白粒が増加します。特に、出穂後積算気温が1,200～1,300℃になると、胴割粒等も発生して整粒歩合はさらに低下するので、刈り遅れにならないように注意しましょう。

出穂期からの積算平均気温に基づく刈取適期予測

品種	刈取適期	出穂期				
		7月30日	8月1日	8月5日	8月10日	8月15日
ひとめぼれ	940～1100℃	9/8～9/15	9/10～9/18	9/15～9/23	9/20～9/30	9/28～10/8
ササニシキ	930～1150℃	9/7～9/18	9/10～9/21	9/14～9/26	9/21～10/3	9/28～10/11
だて正夢	1020～1060℃	9/11～9/13	9/14～9/16	9/19～9/21	9/26～9/28	10/3～10/6
金のいぶき	1050～1150℃	9/13～9/18	9/15～9/21	9/20～9/26	9/27～10/3	10/5～10/11
つきあかり	1000～1100℃	9/10～9/15	9/13～9/18	9/18～9/23	9/25～9/30	10/2～10/8
つや姫	1000～1200℃	-	-	9/18～9/28	9/25～10/6	10/2～10/15

※気温の積算値は9月11日までは実測値。9月12日以降はアメダス(米山)の平年値を用いた。

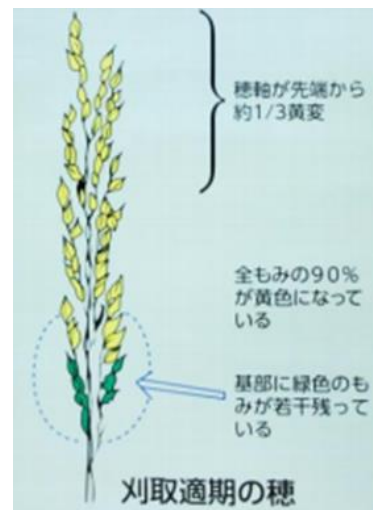
2) 籾の黄化程度

刈取始期は、籾の黄化程度で判断します。ほ場全体を平均して籾の80～90%程度が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から3分の1程度黄変した時期が刈取始期となります。

(2) 収穫作業

○コンバイン収穫では、籾水分が25.0%以下になってから刈取作業を行きましょう。

○複数の品種の刈取りを行う場合には、品種が替わる際に十分な清掃を行い、異品種の混入を未然に防ぎましょう。



○クサネムやツユクサは、脱穀時に種子が混入すると、揺動式比重選や粒径選でも取り除くことができないので、収穫作業前に必ず抜き取りましょう。

＜籾熟色によるコンバイン収穫期の予測判定＞

ひとめぼれでは、平均的穂数株(枝梗数 8)の中位二次枝梗籾の籾色を観察することにより成熟段階を判定でき、刈取適期を予測できます(図2 参照)。

- ◆成熟段階Ⅰ：第1位籾が急速に黄化開始。
 - ◆成熟段階Ⅱ：第1位籾がほぼ(90%)黄化。(7日以内で刈り取り早限)
 - ◆成熟段階Ⅲ：第1位籾のほとんど(95%)黄化し、第2・3位籾が黄化開始(刈り取り早限)
 - ◆成熟段階Ⅳ：第1位籾の黄化100%、第2・3位籾の30%が黄化(積算温度1000℃程度)
 - ◆成熟段階Ⅴ：第2・3位籾が50%以上黄化(刈り取り晚限)
- } 刈取適期

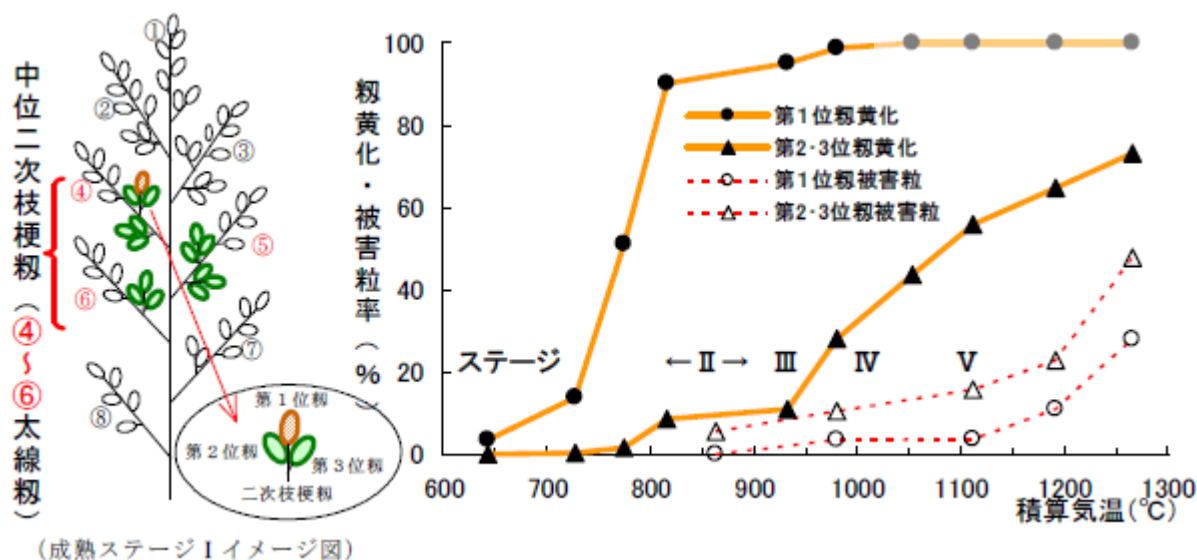


図 積算温度と穂の中位二次枝梗籾黄化率の推移

(3) 乾燥・調製

○コンバイン収穫した生籾を放置すると発熱して変質米の原因になるので、刈取り後は、速やかに乾燥機に張り込み、送風循環しましょう。

○倒伏した稲や未熟粒の多い稲などは高水分籾の混入が多いため、過乾燥となりやすく、胴割米の発生・砕粒の増加・光沢の低下など品質低下を招きます。

高水分籾を機械乾燥する場合は、二段乾燥を行い、水分ムラや胴割米の発生などを抑えましょう。

※二段乾燥とは：籾水分が18.0%程度になったら火力乾燥を一時中断し、一定時間通風循環後、仕上げ乾燥を行う。

○仕上がり玄米水分14.5%~15.0%が目標です。

○籾摺は、肌ずれ防止のため、籾の温度を室温まで下げてからおこないましょう。また、ロー式籾摺機の場合は、籾(品種)に見合った適正なロール間隔に調整しましょう。

○異品種の混入を防ぐため、品種が変わる毎に機械類の清掃を行いましょう。

農 作 業 安 全 確 認 運 動 (9月1日~11月30日)

重点推進テーマ『しめよう！シートベルト』